



これもこれも文化財だぞ!

折尾駅! まるごと博物館

みなさ~ん、おもしろい
迷路の構内へ出発ですよ~

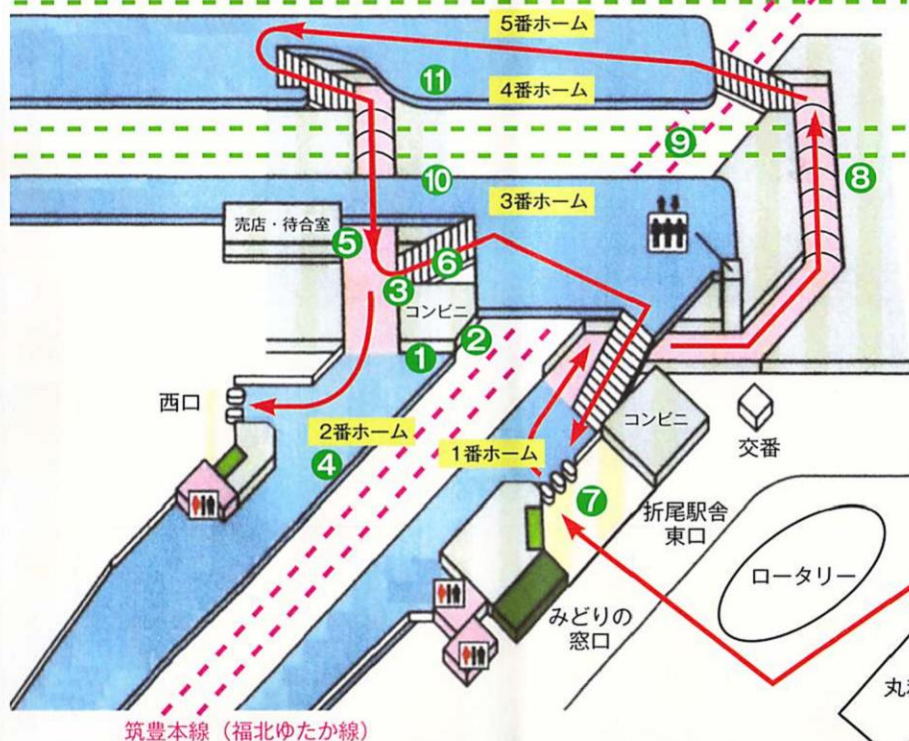


ワァ~スゴ~イ!!

120年前の建造物が、今も現役で大活躍!

鹿児島本線

筑豊本線 (若松線)



格子天井や壁、柱頭飾りなどに、
装飾が見られる。



7 待ち合い室 取壊し予定

両方のケヤキの支柱に丸椅子があったが、改札口の入口と出口を集約した時、片方のみになる。



8 東口側・赤煉瓦連絡通路 取壊し予定

大正7年(1918)、暫定の北口駅前広場の仮設改札口はこの奥にできる。



煙が出ていた所

9 立体交差上、鹿児島本線通路 取壊し予定

蒸気機関車が下を通る時は、交差部分のすき間から煙が出ていた。



赤煉瓦のホーム

10 鹿児島本線③番ホーム 取壊し予定

当初の赤煉瓦のホームに、崇上げの歴史が地層のよう。

※「鷹見口」は、「東口(折尾駅舎)」から150m離れた場所にあります。一旦、駅から外に出て、乗り換え。

鷹見口

6番ホーム

7番ホーム

短絡線 (福北ゆたか線)

《①②③④⑤番ホーム》 取壊し予定

明治24年(1891)

「筑豊鉄興業鉄道」と「九州鉄道」が、約1km離れた場所で開業し、乗り換えに不便と不評。

明治28年(1895)

駅利用者の要望で現在の位置に2社共同で駅舎建設。会社も駅長室も別。制服もラシャ製と木綿製と異なった。これは会社の経営状況が制服まで現れたもので、当時としては石炭輸送中心の筑豊興業鉄道の経営状況がグーンと良かったらしい。

《⑥⑦番ホーム》 取壊し予定

筑豊本線と鹿児島本線などへの貨物専用線。貨物が少なくなったことから、黒崎と筑豊方面を結ぶ客車が走るが、折尾を通過。

昭和63年(1988)

折尾に電車を止める活動が実り、「鷹見口」開設。



11 古い軌条(レール)の支柱 取壊し予定

カーネギー・ヤメリーランド製。この時代からリサイクル!